

令和7年度第3回大学等の質保証人材育成セミナー
大学の未来をデザインする Part 2
—指標とロジックモデルを活かした組織が動く計画づくり—

大学改革支援・学位授与機構

1. はじめに

各大学では、教育・研究・業務運営に関する理念や目標を掲げ、それに基づく計画の立案・実施・点検を行うことで、継続的な質の向上に取り組んでいます。こうした「計画立案」や「進行管理」と並び、現状を的確に把握するための「大学評価」の仕組みは、一定程度定着しつつある一方で、なお改善の余地も多く残されています。

このような状況を踏まえ、大学改革支援・学位授与機構では、教育・研究のみならず大学運営全体の質的向上を図るため、「ロジックモデル」および「指標」を活用した計画立案・進行管理の方法に関するセミナー（令和7年度第2回大学等の質保証人材育成セミナー）を令和7年9月に実施しました。参加した皆様からは、「ロジックモデルの構築をさらに深めたい」「指標の意味や設定方法を詳しく学びたい」といった声を多数いただきました。

こうしたご要望を受け、今回のセミナーはその続編として、より実践的に「指標を活用し、実行可能性を高めるロジックモデル」をテーマに開催いたします。前半では、ロジックモデルの整理と指標を用いた改善手法を学びます。後半では、当機構が開発した「指標チェックリスト（10の観点）」を用いて、指標の妥当性・実用性を検証する方法を講義と演習を通じて習得します。

2. 今回のセミナーの達成目標

本セミナーの目的は、ロジックモデルと指標を活用して、実行可能性の高い計画を立案できる力を養うことにあります。そのため、以下の2点を到達目標とします。

- 1) ロジックモデルの基本的な考え方と構築手法を理解し、指標を活用することで、その妥当性・実用性を検証し、実行可能性のある計画を立案し、進行管理を行うことができるようになる。
- 2) 指標の立て方、検証方法を理解し、適切な指標を選ぶことで構成員が妥当性のある計画立案や進行管理（現状の共有）を実践できるようにする。

なお、本セミナーは前回（第2回）の続編に位置づけられますが、前回内容の復習も兼ねながら進みます。公開中の第2回セミナーの講義動画や教材（下記7. 参照）も併せてご活用ください。

3. 開催日時・会場

令和7年12月18日（木）9:30～16:30

学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）2階中会議場

東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線・新宿線神保町駅 出口A8、A9 徒歩6分

東京メトロ東西線竹橋駅 出口1b 徒歩5分

※講義・演習編についてはオンライン配信もいたします。

4. 対象と募集人数

<講義・演習編（対面・オンライン配信あり）>

- ・ オンライン参加については、所属機関、職位による制限はありません。また、人数制限も設けておりません。
- ・ 国立大学の中期目標・計画の制度や法人評価制度に関する知識やご経験がなくとも参加いただける内容としますが、事前にご覧いただける資料を配付しております(下記7.参照)。

<グループワーク編（対面のみ）>

- ・ 前回の続編としての流れもありますが、職位に関係無く参加したいとのご要望も多くお寄せいただいたことから、国立大学における計画の進行管理を担当されている教職員であればどなたでも参加いただけることとします。(ただし、試行的な要素があるため、対面参加の対象を国立大学の方に限定させていただいております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。)
- ・ 定員は、30名程度を予定しています。(お申込みが多数の場合は、参加人数の調整をお願いすることがございますので、あらかじめご了承ください。)

※ オンライン参加、対面参加問わず参加費は無料となります。

5. プログラム

9:15 開場予定

<講義・演習編（対面・オンライン配信あり）>

9:30～9:35 開会挨拶：戸田山 和久（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長）

9:35～9:50 趣旨説明「大学における点検評価と計画立案の20年を振り返る」

畠田 敏行（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

概要：大学現場において計画立案、指標策定を行っていた経験を踏まえ、大学評価コンソーシアムが主催するセミナー等の参加者が持っている課題から見てきた大学評価と計画進行管理の課題について整理し、その上で、今回のセミナーの趣旨について説明する。

9:50～12:00 講義・演習 1

「指標を活用したロジックモデルのブラッシュアップ」

小湊 卓夫（九州大学 基幹教育院 准教授）

概要：ロジックモデルを用いて立案する「計画」にどのように指標を活用し実行可能性の高めるための議論を行って行くのか、ということについて考え方と手法について学びます。
ロジックモデルの立て方、指標の使い方について例題をもとに作成いただくだけではなく、大学のマネジメントや教育・研究の高度化を意識した「組織が実際に動く」計画を立案し、その進行管理を行うための考え方について実践経験なども踏まえて解説していきます。

12:00～13:00 昼休憩

<アイスブレイク&ネットワーキング（ランチョンミーティング）（対面のみ）>

- ・ グループワークを行うメンバーとの情報交換を兼ねた昼食会とします。
- ・ 軽食等は準備させていただきます（アレルギーや宗教的な食事制限には対応しておりませんので、該当する方はご自身で昼食をご持参いただけますと幸いです）。

13:00～14:20 講義・演習 2

「指標を設定するだけでなく妥当性・実用性を検証するための 10 の観点」

渋井 進（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

概要：大学改革支援・学位授与機構で開発した「指標チェックリスト」を用いて、妥当性の観点から①目的との適合性、②調査対象・結果への影響、③信頼性、④理解可能性、⑤包括性・非重複性、実用面の観点から⑥意思決定者への有用性、⑦計測可能性、⑧収集の適時性、⑨データ収集のコスト、⑩操作可能性という 10 の観点を、指標を設定するだけでなく妥当性・実用性を検証するための方法を理論と実践（事例）の両面から学びます。

14:20～14:25 休憩 兼 質問記入タイム

14:25～14:40 質疑応答・総合討論

<グループワーク編（対面のみ）>

14:50～16:25 グループワーク

「ロジックモデルおよび指標を通して考える中期目標・計画の点検評価と進行管理」

14:50～16:05 グループワーク

グループワークでは、ご自身の大学における計画をロジックモデルに整理いただいたものをもとに現状と課題について報告いただきます。グループのメンバー相互でアドバイスや実際の計画進行管理（評価）に関する情報交換を実施いただきます。（講師陣が巡回しておりますので、何かあればお気軽にお声かけください。）

16:10～16:25 各班から報告とまとめ

各グループでのワークで得られたことなどについて共有して行きます。必要に応じて講師陣からもコメントさせていただきます。

16:25～16:30 アンケート記入

6. 申し込み方法と期間

- ・ 申し込みは、令和 7 年 11 月 6 日（木）13 時から開始します。当機構「大学質保証ポータル」の案内ページにお進みください。<https://niadqe.jp/event/7774/>
- ・ 対面参加希望の方は、班分け等の準備もありますので、12 月 8 日（月）17 時までにお申し込みください（満席になった場合には、その時点で締め切らせていただきます）。
- ・ オンラインのみでの参加の方は、12 月 15 日（月）17 時まで受け付けています。
- ・ 申し込みをされますと確認メールがお手元に届きますのでご確認ください。

7. 前回（第 2 回セミナー）の動画・資料等

- ・ 前回のセミナーの動画・資料等を大学質保証ポータルに掲載しております。
<https://niadqe.jp/event/7595/#program>

（ロジックモデルに関する他の参考資料）

- ・ 「ロジックモデル作成マニュアル」（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/content/20230410-mxt_kanseisk01-100000155-3.pdf

8. その他のご案内

- ・ 資料は、12 月 16 日（火）までに電子的に配付します（現地においてもグループワーク編のワークシートを除き、原則紙資料の配付はありません。事前のダウンロード等をお願いいたします）。
- ・ オンライン会議の接続先の URL、（対面参加の方の）当日の入館方法については資料配付の際に合わせてご案内させていただきます。
- ・ 申し込みを行ったにもかかわらず、これらの日付を過ぎても当機構から連絡がない場合、セミナー開催前日までに下記の問い合わせ先までご連絡ください（迷惑メールフォルダ等に振り分けられていることもありますので、ご連絡の前にご確認ください）。当日の朝は、返信できない場合がございます。
- ・ 対面参加の方でご欠席になる場合には、班編制の都合もありますので、下記、問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- ・ 広報や報告書作成のために会場の写真等を撮影し、当機構「大学質保証ポータル」等で公表させていただきますので、あらかじめご承知おきください。人物が一部写り込む場合は個人が特定できないよう留意いたします。
- ・ 講義・演習編については、当日参加いただけない方への情報提供も兼ねて「大学質保証ポータル」での公開を計画しています（詳細決まりましたらご案内いたします）。
- ・ 対面のグループワーク編では自由な意見交換等を行っていただくため録音、撮影はご遠慮ください（主催者側で記録用に録音等を行う場合はありますが研修事業（成果報告等を含む）以外での利用はいたしません）。
- ・ グループワーク編では、お名前、ご所属、職位のみを掲載した名簿（班分け表）をお配りします。

9. 問い合わせ先

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第 2 係

E-mail : hyokikaku2@niad.ac.jp